

令和7年6月18日

日本教育大学協会が附属学校連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝國分充・東京学芸大学長）は、6月7日（土）に全国国立大学附属学校連盟との共催により、附属学校連絡協議会をお茶の水女子大学キャンパス講堂において開催し、附属学校園の校園長・副校園長をはじめとする関係者約200名が出席した。

開会の挨拶で國分会長は、「本協議会は、学校教育及び附属学校における教員養成の諸問題について協議を行い、附属学校の充実を図ることを目的としている。今年度は昨年度に引き続き、対面での開催となった。日本教育大学協会の企画・調査研究委員会では、国立大学附属学校の在り方検討ワーキンググループを設置しており、令和4年度に引き続き令和6年度に『国立大学附属学校自己点検・評価』を実施し、結果がHPにて公開された。今後の附属学校の改善を図るうえで、参考にさせていただきたい。昨年度、教師の処遇改善にかかる要望を文部科学省に提出したが、今後も皆様との活動を通じて附属学校の存在意義をしっかりとアピールする必要があると感じている。国や地域の期待に十分応えられるように附属学校本来の役割を全うしていきたい。」と述べた。

その後、文部科学省の若林徹総合教育政策局教育人材政策課教員養成企画室長から、これからの附属学校に期待することについて施策説明があった後、木山慶子国立大学附属学校の在り方検討ワーキンググループ座長（全国国立大学附属学校連盟理事長）から、日本教育大学協会企画・調査研究委員会国立大学附属学校の在り方検討ワーキンググループの進捗状況について、報告があった。



國分会長



若林室長



木山理事長

【会場の様子】

